

この2年で
26回質問

インボイスは廃止せよ!

10月1日に始まったインボイス制度により、すでに多くの免税業者が倒産・廃業に追い込まれました。STOP! インボイスの意識調査で、クリエイターや農家、建設ひとり親方など、値引きの強要や課税業者の登録を強制された実態が浮き彫りになっています。

政府は適正な納税のためにインボイスは必要と言いますが、欧州

では偽インボイスが広がり、930億ユーロ(約14兆円)の消費税漏れが問題となっています。私の追及で、日本の制度でも同じ偽問題が発生する可能性があることを鈴木俊一財務大臣が否定できませんでした。

物価高騰対策として消費税率を5%に引き下げ、インボイスは廃止するしかありません。



▲STOP!インボイス署名提出院内集会(23年9月4日)
オンライン署名は56万筆超える。

病院・医療の積立金を 軍拡財源に流用するな

5年間で43兆円もの大軍拡にのりだした自公政権がこんなことまで…。国立病院機構と地域医療機能推進機構(JCHO)の積立金を流用し、軍拡財源法の防衛力強化資金にあてる政府の方針を批判。両機構は財政難で施設の老朽化や病院職員の賃上げ抑制など様々な問題が起きていると指摘し、積立金は「病院のために使うべきだ」と迫りました。

食料自給率の向上を国政の柱に 農政の転換へ 提言を发表



食料をいくらでも輸入できる時代は終わりました。農業の危機を救い、低迷する食料自給率を本当に向上させるため、農政の抜本的な転換を求める提言を发表しました。

しかし政府は、農政を見直すどころか、食料自給率の目標自

体を投げ捨てようとしています。欧米では当たり前の所得補償制度を要求すると、農水大臣は「収益性の向上意欲が弱まる」(農林水産委員会)と冷たく言い放ちました。日本の食と農を守る政治への転換が必要です。

◀農水省の藤木眞也政務官に共産党の提言を手渡す(23年8月23日)

自民党政治を終わらせよう

底なしの裏金疑惑。派閥ぐるみ、自民党ぐるみで裏金づくりをしていた、きわめて悪質で前例のない重大事件です。徹底的な真相究明を求めるとともに、金権腐敗政治の一掃へ、今こそ、パーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止にふみきるときです。

パー券購入、企業・団体献金を**禁止**に
——日本共産党が法案提出(参院に)



▲福岡市で、裏金疑惑の徹底究明を訴え(23年12月15日)

田村貴昭 国会報告

日本共産党 衆議院議員

2024年 新年号
発行: 田村貴昭事務所
〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館712
TEL:03-3508-7475

所属委員会
●財務金融委員
●農林水産委員
●災害対策特別委員

▼ホームページ



九州・沖縄を駆ける

基地問題でも 災害対策でも

田村貴昭

公式LINEにご登録ください



陸自・水陸機動団が創設された佐世保基地を視察(23年12月22日)



オスプレイ17機を配備予定の陸自・佐賀駐屯地予定地を視察(23年7月3日)



台湾の大手半導体製造企業TSMC誘致に伴う、地下水の枯渇や汚染、交通渋滞などの問題を調査(23年7月21日)



「フーモア・ミナタ」大阪地裁判決(9・27)を受け、国がすべての被害者救済に責任を果たすよう環境省に申し入れ(23年10月3日)



馬毛島基地建設による被害・不安を種子島住民から聞き取り(23年12月25日)

九州・沖縄を「敵基地攻撃」の拠点にする基地強じん化・大軍拡を許さず、災害対策など九州・沖縄の課題と向きあってきました。新しい年も、全力をつくします。



大雨による土砂災害現場を調査(23年7月11日、久留米市田主丸)



国の重要無形文化財「久留米餅」工房の浸水被害を聞き取り(23年7月24日、広川町)



人口密集地にミサイル・弾薬庫を建設する陸自・大分分屯地を調査、住民の不安を聞く(23年8月4日)



飼料高騰で苦しむ酪農家から聞き取り調査(23年10月16日、都市市)



名護市辺野古の米軍新基地建設反対のためたかいを激励、工事強行を海上から抗議(23年9月28日)



屋久島沖 オスプレイ墜落(11/29) 全機撤去など緊急申し入れ

米軍オスプレイ墜落事故を受け、九州7県の党代表とともに、全機の運用停止と撤去、陸上自衛隊への導入中止、佐賀への配備撤回などを九州防衛局に緊急申し入れ(23年12月4日)

来たる総選挙
九州・沖縄で
比例2議席を

勝利を！
オール沖縄



沖縄1区選出
赤嶺政賢
衆議院議員



比例選出
田村貴昭
衆議院議員